

茶の湯デザインの源流をさぐる

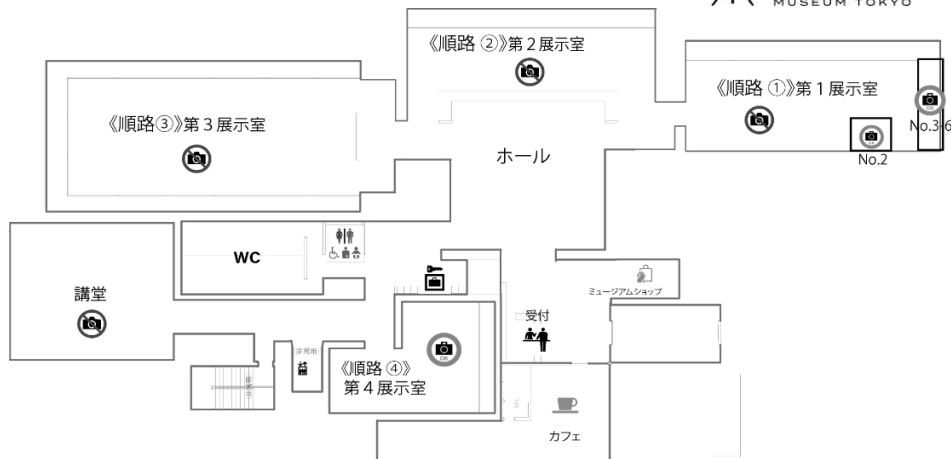
唐物誕生

Special Exhibition The Birth of *Karamono*: Exploring the Origins of *Chanoyu* Designs

SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM TOKYO
泉屋博古館東京



2026.11.3^{水祝}—12.13^日
前期:11月3日(火・祝)～11月23日(月・祝)
後期:11月25日(水)～12月13日(日)



主催:公益財団法人泉屋博古館、毎日新聞社
特別協力:一般財団法人今日庵 茶道資料館、芦屋釜の里
後援:TOKYO MX
助成:芸術文化振興基金

出品目録

※リストの並びは展示順です。

※出品作品は都合により予告なく変更することがあります。

撮影にあたってのお願い

- 撮影はNo.2～No.6の青銅器(展示室1)および展示室4内のみ可能です。
フラッシュ・三脚のご使用、動画の撮影はご遠慮ください。
シャッター音等、周囲へのご配慮をお願いいたします。
- 館内は全館禁煙となっております。
展示室でのあめ・ガムを含む飲食はご遠慮ください。
水分補給はロッカー前的小ホールにてお願いします。
- ホール、小ホールも含め、館内での会話のお声は 控えめにお願いします。
皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます

作品 No.	図録 No.	前期	後期	指定	作品名	よみ	作者名	制作年	材質	所蔵先
第一章 いにしえへのあこがれ										
1	1	◎	◎		獣面紋玉琮 (独立ケース)	じゅうめんもんぎょくそう		中国・新石器時代 (前3300-2300)	石製	和泉市久保惣記念美術館
2	2	◎	◎		鼎父己尊 (独立ケース)	ていふきそん		中国・殷時代 (前11世紀)	青銅鑄造	泉屋博古館
3	3	◎	◎		亜矢觚	あぎこ		中国・殷時代 (前12-11世紀)	青銅鑄造	泉屋博古館
4	4	◎	◎		亜夔止鼎	あげんしてい		中国・殷時代 (前12-11世紀)	青銅鑄造	泉屋博古館
5	5	◎	◎		姜姫鬲	きょうきれき		中国・西周時代 (前9世紀)	青銅鑄造	泉屋博古館
6	6	◎	◎		偁缶簋	しょうふき		中国・西周時代 (前11-10世紀)	青銅鑄造	泉屋博古館
7	7	◎	◎		鍍金酒樽	とकिनしゅそん		中国・前漢時代 (前2-1世紀)	青銅鑄造・鍍金	泉屋博古館
8	8	◎	◎		蒜頭壺	さんとうこ		中国・前漢時代 (前2-1世紀)	青銅鑄造	和泉市久保惣記念美術館
9	9	◎	◎		銅錯文壺	どうさくもんこ		中国・前漢時代 (前2-1世紀)	青銅鑄造	泉屋博古館
10	10	◎	◎		長頸瓶	ちょうけいはい		中国・南北朝時代 (5-6世紀)	響銅	和泉市久保惣記念美術館
11	11	◎	◎		至大重修宣和博古図録	しだいじゅうしゅうせんはくこずろく		中国・元時代 至大年間 (1308-11)刊・明代印	紙本墨摺	静嘉堂文庫
12	12	◎	◎		金銀錯獸形尊	きんぎんさくじゅうけいそん		中国・北宋時代 (10-12世紀)	青銅鑄造・象嵌	泉屋博古館
13	13	◎	◎		銅四方波紋瓶	どうしほうはもんはい		中国・元～明時代 (14-15世紀)	青銅鑄造	和泉市久保惣記念美術館
14	14	◎	◎		胡銅中蕪花入	こどうなかかぶらはなはいれ		中国・南宋～元時代 (13-14世紀)	青銅鑄造	個人蔵
15	15	◎	◎		青磁中蕪花入 銘 吉野山	せいじなかかぶらはなはいれ めい よしのやま		中国・南宋時代 (13世紀)	施釉磁器	個人蔵
16	16	◎	◎		青磁尊形花入	せいじそんがたはなはいれ		中国・南宋～元時代 (13世紀)	施釉磁器	東京国立博物館
17	17	◎	◎	重文	青磁琮形瓶	せいじそうがたはい		中国・南宋時代 (12-13世紀)	施釉磁器	東京国立博物館

作品 No.	図録 No.	前期	後期	指定	作品名	よみ	作者名	制作年	材質	所蔵先
-----------	-----------	----	----	----	-----	----	-----	-----	----	-----

第二章 規範の形成―宋元時代の文物と喫茶

18	18	◎		国宝	秋景山水図	しゅうけいさんすいず	(伝)徽宗筆	中国・南宋時代 (12世紀)	絹本着色	京都・金地院
18	18		◎	国宝	冬景山水図	とうけいさんすいず	(伝)徽宗筆	中国・南宋時代 (12世紀)	絹本着色	京都・金地院
19	19	◎	◎	国宝	青磁鳳凰耳花生 銘 万声	せいじほうおうみみはないけ めい ばんせい		中国・南宋時代 (12-13世紀)	施釉磁器	和泉市久保惣記念美術館
20	20	◎	◎		品茶図	ひんちゃず	(伝)銭選筆	中国・明時代 (15-16世紀)	絹本着色	大阪市立美術館
21	21	◎	◎		白磁瓜形水注	はくじゅうりがたすいちゅう		中国・北宋時代 (11-12世紀)	施釉磁器	東京国立博物館
22	22	◎	◎		水注	すいちゅう		中国・北宋～南宋時代 (11-12世紀)	響銅	和泉市久保惣記念美術館
23	23	◎	◎		胡銅龍紋象耳花入	こどうりゅうもんぞうみみはないれ		中国・南宋～明時代 (12-14世紀)	青銅鑄造	根津美術館
24	24	◎	◎		禾目天目	のぎめてんもく		中国・南宋時代 (12-13世紀)	施釉陶器	京都・相国寺
25	25	◎	◎		黄天目 銘 薦	きてんもく めい つばめ		中国・元～明時代 (14-15世紀)	施釉陶器	泉屋博古館東京
26	26	◎	◎		文琳茶入 銘 若草	ぶんりんちやいれ めい わかくさ		中国・南宋～元時代 (13-14世紀)	施釉陶器	泉屋博古館東京
27	27	◎			牡丹堆朱香台	ぼたんついしゅこうごう		中国・元時代 (14世紀)	木胎漆塗	東京国立博物館
28	28	◎		重文	鳳凰花卉堆朱箱	ほうおうかきついしゅばこ		中国・南宋時代 (13世紀)	木胎漆塗	東京国立博物館
29	29		◎		屈輪文堆黒盆	ぐりもんついこくぼん		中国・南宋時代 (13世紀)	木胎漆塗	大和文華館
30	31	◎	◎		茶具図賛	ちゃぐずさん		中国・明時代 万暦年間 (1573-1620)刊	紙本墨摺	今日庵文庫
31	30	◎	◎		羅漢図	らかんず	陸仲淵筆	中国・元時代 (13-14世紀)	絹本着色	奈良・能満院

第三章 日中交易と喫茶文化の伝来

32	32	◎		重文	墨蹟 与明知客偈	ぼくせき よめいちかくげ	無爾可宣筆	中国・南宋時代 (13世紀)	紙本墨書	今日庵文庫
33	33		◎		虎丘十詠跋	くきゅうじゅうえいぱつ	靈石如芝筆	中国・元時代 大徳8年(1304)	紙本墨書	大和文華館
34	34	◎	◎	重文	布袋図	ぼていず	黙庵靈淵画 月江正印賛	日本・南北朝時代 (14世紀)	紙本墨書	泉屋博古館
35	40	◎	◎		青磁花瓶	せいじけびょう		中国・元時代 (14世紀)	施釉磁器	神奈川・称名寺
36	41	◎	◎		青磁香炉	せいじこうろ		中国・元時代 (14世紀)	施釉磁器	神奈川・称名寺
37	35	◎	◎		喫茶養生記	きっさようじょうき		日本・江戸時代 元禄7年(1694)刊か	紙本墨摺	今日庵文庫
38	36	◎	◎	国宝	金沢貞顕書状 (K2379/S1520)	かねさわさだあきしよじょう		日本・鎌倉時代 (14世紀)	紙本墨書	神奈川・称名寺
39	37	◎	◎	国宝	金沢貞顕書状 (K157/S482)	かねさわさだあきしよじょう		日本・鎌倉時代 (14世紀)	紙本墨書	神奈川・称名寺
40	38	◎	◎	鎌倉市 指定文 化財	出土貿易陶磁 (のぞきケース)	しゅつどぼうえきとうじ		中国・朝鮮 北宋～元・高麗時代 (11-14世紀)	施釉陶器・ 施釉磁器	鎌倉市教育委員会
41	39	◎	◎		宋銭 (のぞきケース)	そうせん		中国・北宋時代 (10-11世紀)	青銅鑄造	泉屋博古館
42	42	◎	◎		福寿文香炉	ふくじゅもんこうろ		中国・元時代 (14世紀)	施釉磁器	泉屋博古館東京
43	43	◎	◎		茶壺 銘 山陰	ちゃつぼ めい やまかげ		中国・元～明時代 (14-15世紀)	施釉陶器	泉屋博古館東京
44	44	◎	◎		倣古銅器	ほうこどうき		中国・明時代 (15-16世紀)	青銅鑄造	同志社大学歴史資料館
45	45	◎	◎	重文	湯瓶	とうびょう		日本・鎌倉時代 (13-14世紀)	青銅鑄造	大阪市立美術館
46	46	◎	◎		芦屋霰地真形釜	あしやあられじしんなりがま		日本・室町時代 (15世紀)	鑄鉄製	芦屋釜の里
47	47	◎			古天明姥口釜	こてんみょううばくちがま		日本・室町時代 (16世紀)	鑄鉄製	泉屋博古館東京
48	48		◎		大講堂釜	だいこうどうがま		日本・室町時代 (16世紀)	鑄鉄製	泉屋博古館東京

作品 No.	図録 No.	前期	後期	指定	作品名	よみ	作者名	制作年	材質	所蔵先
第四章 『君台観左右帳記』の時代										
49	50	◎		重文	遠浦帰帆図	えんぽきはんず	(伝)牧谿筆	中国・南宋時代 (13世紀)	紙本墨画	京都国立博物館
50	51		◎	国宝	秋野牧牛図	しゅうやぼくぎゅうず	(伝)閻次平筆	中国・南宋時代 (13世紀)	絹本着色	泉屋博古館
51	52	◎	◎	重文	鑄銅三具足	ちゅうどうみつぐそく		中国・明時代 (15世紀)	青銅鑄造	滋賀・聖衆来迎寺
52	53	◎	◎		琴高仙人・柳鶯・芦雁図	きんこうせん・にん・りゅうろ・ろがんず	狩野元信印	日本・室町時代 (16世紀)	紙本墨画	泉屋博古館
53	54	◎	◎		足利義政遺愛品 (硯・硯屏・墨・筆・水滴)	あしかがよしまさ いあいひん (すずり・けんびょう・すみ・ふで・すいてき)		中国・明時代 (15世紀)	石製 木胎漆器 墨 青銅鑄造	京都・慈照院
54	55	◎	◎		唐物小丸壺茶入 添 唐物青貝四方盆	からものこまるつぼちゃいれ そえ からものあおがいよほうぼん		中国 茶入：南宋・元時代(13世紀) 四方盆：明時代(16-17世紀)	茶入：施釉陶器 四方盆：木胎漆器・螺鈿	京都・慈照寺
55	56	◎	◎		芦葉達磨香合	ろようだるまこうごう		中国・明時代 (16世紀)	木胎漆塗・螺鈿	泉屋博古館東京
56	57	◎		国宝	玳瑁散花文天目 (独立ケース)	たいひさんかもんてんもく		中国・南宋時代 (12-13世紀)	施釉陶器	京都・相国寺
57	58		◎	重文	青磁輪花茶碗 銘 馬蝗絆 (独立ケース)	せいじりんかちゃわん めい ばこうはん		中国・南宋時代 (13世紀)	施釉磁器	東京国立博物館
58	49	◎	◎		君台観左右帳記写本	くんだいかんそうちょうきしゃほん	多湖真清筆	日本・江戸時代 (17世紀)	紙本墨書	今日庵文庫
59	59	◎	◎		古銅桔梗口花入	こどうききょうはなぐちはないれ		中国・明時代 (14-15世紀)	青銅鑄造	湯木美術館
60	60	◎	◎		鴨形香炉	かもがたこうろ		中国・明時代 (14-15世紀)	青銅鑄造	個人蔵
61	61	◎	◎		古市播磨法師宛一紙 写	ふるいちはりまほうしあて うつし	鴻池道徳筆	日本・江戸時代 (18世紀)	紙本墨書	今日庵文庫

第五章 利休の時代へ

62	63	◎	◎		砂張舟形釣花入 銘 松本船	さはりふながたつりはないれ めい まつもとぶね		中国・明時代 (15-16世紀)	青銅鑄造	泉屋博古館東京
63	64	◎	◎		胡銅桃尻花入	こどうももじりはないれ		中国・明時代 (15-16世紀)	青銅鑄造	個人蔵
64	65	◎	◎		胡銅桃尻花入	こどうももじりはないれ		中国・明時代 (15-16世紀)	青銅鑄造	個人蔵
65	66	◎	◎		胡銅桃尻花入	こどうももじりはないれ		中国・明時代 (15-16世紀)	青銅鑄造	個人蔵
66	67	◎	◎		山上宗二記 (のぞきケース)	やまのうえそうじき	山上宗二筆	日本・安土桃山時代 天正16年(1588)2月27日 (16世紀)	紙本墨書	今日庵文庫
67	68	◎	◎		神屋宗湛日記 写本 (のぞきケース)	かみやそうたんにっき しゃほん		日本・江戸時代 (18世紀)	紙本墨書	今日庵文庫
68	76	◎	◎	周南中 指定文化財	鉄造茶釜〈雲龍図真形釜〉	てつぞうちゃがま (うんりゅうずしんなりがま)		日本・室町時代 (16世紀)	鑄鉄製	山口・漢陽寺
69	78	◎	◎		小井戸茶碗 銘 六地藏	こいどちゃわん めい ろくじぞう		朝鮮・朝鮮時代 (16世紀)	施釉陶器	泉屋博古館東京
70	79	◎	◎		紅葉呉器茶碗	もみじごきちゃわん		朝鮮・朝鮮時代 (16世紀)	施釉陶器	泉屋博古館東京
71	80	◎	◎		赤樂茶碗 銘 白鷺	あからくちゃわん めい しらすざぎ	長次郎作	日本・安土桃山時代 (16世紀)	陶製	裏千家今日庵
72	81	◎	◎		唐物円座肩衝茶入 銘 利休円座	からものえんざかたつきちゃいれ めい りきゅうえんざ		中国・南宋時代 (13世紀)	施釉陶器	五島美術館
73	82	◎	◎	重文	黄瀬戸立鼓花入 銘 旅枕	きせとりゅうごはないれ めい たびまくら		日本・安土桃山時代 (16世紀)	施釉陶器	和泉市久保惣記念美術館
74	84	◎	◎		山水図	さんすいず		日本・室町時代 (15-16世紀)	紙本墨画淡彩	泉屋博古館
75	83	◎	◎		胡銅大曾呂利花生	こどうおおそろりはないけ		中国・南宋時代 (13世紀)	青銅鑄造	五島美術館
76	85	◎	◎		胡銅象耳花入 銘 キネナリ	こどうぞうみみはないれ		中国・元-明時代 (14-15世紀)	青銅鑄造	泉屋博古館東京

作品 No.	図録 No.	前期	後期	指定	作品名	よみ	作者名	制作年	材質	所蔵先
特集展示 胡銅桃花入の謎にせまる										
1		◎	◎		松脂と蜜蝋	まつやにとみつろう				
2		◎	◎		木箱(鳥目箱)	きばこ(とりめばこ)				
3		◎	◎		挽板	ひきいた				
4		◎	◎		紋様原型	もんようげんけい	樋口陽介	日本・令和8年(2026)		
5		◎	◎		蠟パーツ	ろうぱーつ	樋口陽介	日本・令和8年(2026)		
6		◎	◎		器本体の蠟原型①	うつわほんたいのろうげんけい①	樋口陽介	日本・令和8年(2026)		
7		◎	◎		器本体の蠟原型②	うつわほんたいのろうげんけい②	樋口陽介	日本・令和8年(2026)		
8		◎	◎		復元鑄造された胡銅	ふくげんちゅうぞうされたこどう	樋口陽介	日本・令和8年(2026)	青銅鑄造	
特別 出品		◎	◎		無地真形釜 (独立ケース)	むじしんなりがま	樋口陽介	日本・現代 (21世紀)	鑄鉄製	個人蔵

【次回展のお知らせ】

泉屋博古館東京開館25年記念 企画展
住友洋画Collection Dig!
—この世の花にであう、よろこびの絵画—

住友グループの礎を築いた第15代当主・住友吉左衛門友純(号:春翠、1864～1926)は、実業のかたわら芸術文化にも力をそそぎ、西洋絵画を積極的に収集しました。そのコレクションの始まりは、明治30年(1897)の欧米視察の際、パリで自ら選んで購入したクロード・モネの油彩画でした。

帰国後、春翠は、欧米の社会慈善事業に学んだ経験から、のちに関西美術院を開設することになる浅井忠やその後継者となる鹿子木孟郎らを積極的に支援しました。

彼らを起点に、明治末に始まる文展で日本の「洋画」を切り拓いた青年画家たちの作品を積極的に購入していきます。それらの作品は、住友の洋館・須磨別邸などに飾られました。

その須磨別邸で幼少期を過ごした春翠の子息たちもまた、その生涯にわたりの感性に沿った絵画コレクションを形成したのも、自然な成り行きでした。

その内のひとり、住友寛一(1896～1956)は、大正洋画壇の異才・岸田劉生と親しく交わり、劉生の画業の上でも重要となる作品を深く敬愛し保有し続けました。

また、住友友成(1909～93)は、アララギ派の歌人として知られ、春翠コレクションの後継となる20世紀洋画を収集しています。なかでも昭和戦前期の日本洋画を代表する画家たちのコレクションは自身の歌ごとくとも共鳴したような素朴で力強い作風を示した作品が数多くみられます。

本展は、住友春翠父子が継続してきた芸術支援とそれぞれの審美眼を深掘りして紹介します。

会 期 2027年1月30日(土)～ 3月22日(月・休)

休 館 日 月曜日(3/22は開館)

開 館 時 間 午前11時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
*金曜日は午後7時まで開館(入館は午後6時30分まで)

会 場 泉屋博古館東京(東京・六本木)

入 館 料 一般1,200円 学生600円 18歳以下無料
*20名以上は団体割引料金(一般1,000円、学生500円)
*障がい者手帳ご呈示の方は無料



詳細や会期中のイベントにつきましてはホームページをご覧ください▶▶